

第4 1回 スポーツの集い開催要項

1 趣 旨

地域住民のスポーツへの参加意欲を高め、その生活化を推進するとともに、スポーツを通して住民の連帯性を培い、たくましい心と体をつくることを目的として実施する。

2 主 催 陸別町教育委員会

3 後 援 陸別町体育連盟

4 協力機関 各自治会

5 期 日 平成29年11月6日(月)、7日(火)、9日(木)、10日(金)

6 会 場 陸別中学校体育館

7 競技種目 ・バレーボール 11月6日(月)・カローリング 11月7日(火)
・ミニバレー 11月9日(木)・フロアーリング 11月10日(金)

8 参加料 1種目参加の場合 100円、2種目参加の場合 150円
3種目参加の場合 200円、4種目参加の場合 250円
※内訳：参加料は種目数に関わらず50円。保険料は1種目50円。

9 出場資格

- (1) 勤労青少年以上とする。
- (2) 町内に居住するものであること。
- (3) 出場種目数に制限はありません。
- (4) 年齢制限のある場合における年齢計算は平成29年11月1日現在とし、年齢の上から下への出場は認める。

10 競技方法

- (1) 町内会対抗とし、各種目とも出場チーム数の制限は行わない。ただし連合チームを編成する場合は、登録者個人が本来出場すべき町内会の承諾を得ることを条件として認める。
- (2) 組合せは、関係者の抽選により決定する。
- (3) 競技規則は別に定める種目別実施要領による。ただし出場チーム数により内容が変更されることがある。

11 表 彰

上位入賞チームには、賞品を授与する。

12 その他

- (1) 参加申込み方法・大会日程・開閉会式は別に定める。
- (2) 参加選手は自己の健康管理に充分留意すること。
- (3) 予選のある種目で、決勝トーナメントに参加資格があるのに都合で参加できないと前もってわかった場合は、次順位チームが参加できる。

*連合チームの編成でお困りの時は教育委員会にご相談ください。

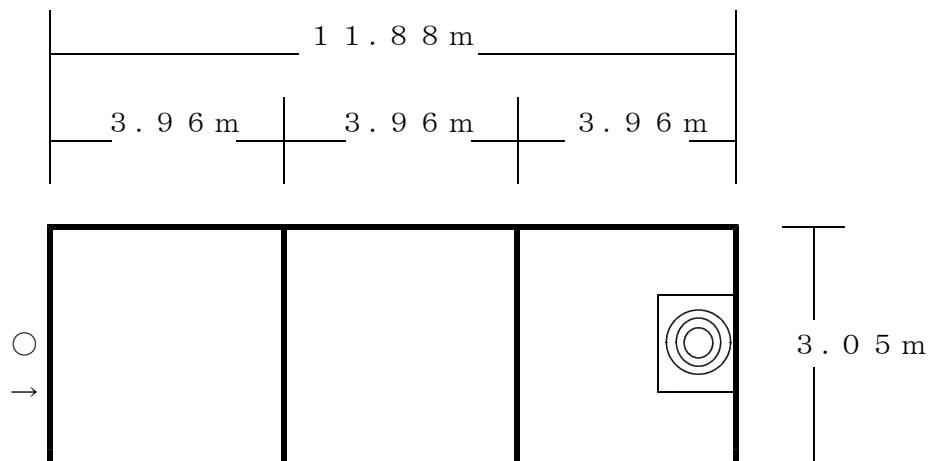
種 目 別 実 施 要 領

◇◇◇バレーボール◇◇◇ 期日：11月6日（月）

- (1) 試合は6人制とし（ローテーション有）、ゲーム中は必ず1名以上の女子と満40才以上の男子（又は女子→年齢制限なし）1名以上がコート内にいること。
- (2) コートは6人制コートを使用し、ネットの高さは**2 m 2 4 cm**、ボールは5号ボールを使用する。
- (3) サーブは1本とし、又サーブの方法はどの方法によってもよい。
ネット・インのボールは有効として認める。
- (4) レシーブの平手は有効とするが、ヒットさせること。
体の一部であれば、どこでレシーブしてもよい。（足等もOK）
- (5) 試合方法は予選リーグ（リンク制）、決勝トーナメント戦とし予選リーグ・決勝トーナメント戦とも15点ラリーポイント3セットマッチとする。14点で同点の場合はデュースとして、以降2点差で勝ちとする。3セット目は8点でチェンジコートをする。
決勝出場チームが3チームの場合、決勝戦はリーグ戦とする。
但し、4チーム以上の場合、トーナメント戦とする。
- (6) その他は平成29年度日本バレーボール協会6人制競技規則に準じて行う。
- (7) ラインズマン・得点係は、大会本部でチーム割振りをするのでご協力をお願いします。
- (8) 決勝トーナメント戦に参加資格があるのは、各ブロック2チームまたは3チームとする。その他は交流トーナメントに出場する。

◇◇◇カローリング◇◇◇ 期日：11月7日（火）

- (1) 競技者は1チーム3名で3個のジェットローラ（以下「ローラ」という）を使用しゲームを進める。（1人1個のローラ）
登録は5名までとし、送球順は自由である。（ゲーム中の選手の変更はよいが、選手は必ず1回ローラを投球すること。又、交替した選手の再出場は認めない。）
- (2) コートは11.88m×3.05mのテープでフローアに設置する（バドミントンコート半面を使用）。投球地は短辺の中央外線に立ちローラを投球する。
- (3) ローラは、コート内3.96m～11.88m以内に投球位置から投球する。
- (4) ローラは、投球位置からどのような体勢で投球してもよい。
投げたローラは、移動されてもゲーム終了までそのままの状態です。
ライン上のローラは、有効とする。ローラは1人1投。
- (5) ローラによる不公平を防ぐため、イニングごとにローラを交換する。
（例～赤黒の場合、1イニング目に赤を使用したチームは、2イニング目は黒のローラを使用する。）1イニングずつローラの交換をしてゲームを進める。
- (6) 最初にジャンケンで先攻・後攻を決め、1イニング目は先攻チーム・2イニング目以降は勝ちチームの順でローラを投球する。（各イニング内の投球順番は変更してもよい。）
- (7) 得点の計算は、両チームのローラを全て投球し終わった後、ポイントゾーンに最も近いローラのチームが相手チームの一番近いものより近いもの全てが得点となる。なお、同距離の場合は、両チームにポイントゾーンのポイントが与えられる。
- (8) 両チームのローラがいずれもポイントゾーン上にない場合は引き分けで、両チームの得点は0点で次のイニングに進み、先攻の順序は同じです。
- (9) ポイントゾーンの青、黄、赤の間の白色上に停止した場合は、低いポイントを採用する。5イニング終了時に総点数の多いチームが勝ちとする。同点の場合は、チーム代表者1名によるジャンケンで勝敗を決定する。



◇◇◇ミニバレー◇◇◇ 期日：11月9日（木）

- (1) 試合方法は混成のみ(40才未満の部・40才以上の部、女子年齢制限無し)で予選リーグ、決勝トーナメント戦(4チーム以上の場合)もしくは、リーグ戦(3チームの場合)とする。
混成は「男子2名、女子2名」及び「男子1名、女子3名」のいずれかとする。
トーナメント戦は、1・2位(決勝)と3・4位(交流)のグループに分けて実施する。
- (2) 予選リーグにおいて同率の場合は、①勝敗、②得失点差、③ジャンケン
の順で勝敗を決める。
- (3) 1試合10分制とする。
- (4) サーブはエンドライン後方から1本とし、サーブ権のある間は同一選手が行う。
ただし、サイドラインの延長内に限る。
- (5) ジャンプサーブは禁止する。
- (6) オーバータイムス・ドリブル・ホールディング・フットボール・オーバーネット
・フットフォルト・スクリーン等の反則をおかした場合、サーブ権が移行するか、
相手の得点となる。
- (7) 混成チームのプレイヤーの位置は、男子女子ともに対角線に位置する。
- (8) その他は全日本ミニバレールールに準じて行う。
- (9) 審判員・線審・得点係は、大会本部でチーム割振りをするので協力をお願いします。

◇◇◇フローリング◇◇◇ 期日：11月10日（金）

- (1) 競技者は1チーム5名で5個のホースリング（以下「リング」という）を使用し、ゲームを進める（1人1個のリング）。
登録は7名までとし、送球順は自由である（ゲーム中の選手の変更はよいが、選手は必ず1回リングを送球すること）。
- (2) コートは11.88m×3.05mのテープでフローリングに設置する（バドミントンコート半面を使用）。送球地は短辺の中央外線に立ち標的・リングを送球する。
- (3) 標的（卓球ボールの変形したものにビニールテープを巻いた物）は、コート内3.96m～11.88m以内に送球位置から投げる。
標的は、2回まで投げることができる。但し、2回とも失敗したときは、先攻権が移動し、相手に1点を与える。
- (4) 標的及びリングは、送球位置からどのような体勢で送球してもよいが、送球した標的及びリングが静止するまで送球地のラインを踏んではいけない。
もしラインを踏んでしまった場合は、1ゲーム中1人につき1回目は注意とするが、2回目以降は反則とし投げたリングを無効とする（投げたリングはコートの外へ置く）。反則となった場合は、コート内の標的及びリングをそのままの状態（反則となったリングが投げられた後の状態）でゲームを進める。
投げたリングは、移動されてもゲーム終了までそのままの状態で置く。
リングは1人1投。
- (5) リングの形・重さ等による不公平を防ぐため、セットごとにリングを交換する。（1セット目に青を使用したチームは、2セット目は黄のリングを使用する。）
1セットずつリングの交換をしてゲームを進める。
また、セット毎に送球地を換えることとする。
- (6) 最初に先攻・後攻を決め、1セット目は先攻チーム・2セット目後攻チームの順で標的、リングを送球する。（各セット内の送球順番は変更してもよい。）又、標的をリングで捕らえた場合（囲んだ場合）は標的から外し、投球者の好きな位置に着けて置く。
- (7) リングを投げて標的にあたり相手方のリングに標的が入った場合は、相手方投球者が標的を外し、好きな位置に着けて置く。リングは重ねないように置く。重ねなければならない場合はやむを得ないものとする。
- (8) 標的の上にリングが乗った場合は、そのままにしておく。
- (9) 交替交替に投げたリングが、セット終了後同等の距離の場合は、それぞれのチームに各1点を与える。標的に接しているリングには全て得点を与える。
- (10) ゲーム中、標的をコート外に弾き飛ばした場合は、そのセットは終了し、相手チームに2点又は相手チームの残っているリングの数のいずれが多い方を得点として与える。

- (11) 得点の計算は、両チームのリングを全て送球し終わった後、標的に最も近いリングのチームが相手チームの標的に一番近いものより近いもの全て得点となる。(1個につき1得点とする。)
- (12) 8点先取したチームを勝ちとし、ゲームを終了する。
ただし、セットは6セットまでとし、8点に達していない場合は6セット終了時に総得点の多いチームを勝ちとする。同点の場合は、代表者によるジャンケンで勝敗を決定する。
- (13) 予選はリーグ戦、決勝戦は各クラスに分けて、リーグ戦とする。同率の場合は①得失点差 ②ジャンケンの順で勝敗を決定する。
なお、参加チーム数により試合方法が変更されることがある。
- (14) コートは下記のとおり設計する。

